



### 違法薬物から子供達を守る 「子供たちとの対話の機会を持ちましょう」



2011年3月26日土曜日 イオンモール岡崎にて「薬物乱用防止キャンペーン」開催

### 麻薬、覚せい剤、シンナーは『ダメ。ゼッタイ。』



イベント内容は、青少年の保護者、先生方及び地域の方々に違法薬物の恐ろしさをより深く理解していただき、青少年を含む総ての方々に、薬物乱用『ダメ。ゼッタイ。』の意識を高めていただきます。

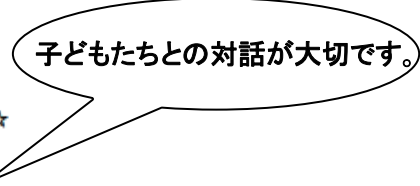
“見て知ろう 薬物乱用の怖さ 愛知県警察本部薬物乱用防止広報車”  
◇違法薬物の標本など、普段では目にすることができない展示があります。展示物とともに係員がその怖さを説明をします。  
西武百貨店入口前駐車場に展示 午前10時から午後3時30分



“愛知県警察音楽隊演奏会”  
西武百貨店入口前駐車場にて開催 午前11時より  
(雨天は岡崎商工会議所 大ホールにて開催)



“薬物乱用防止講習会 講師：愛知県警察本部生活安全部少年課担当官”  
◇子どもたちを違法薬物の危険から守るために、おとなが知っておくべき知識を学びます。  
イオンホール(本館3階)にて開催 午後2時から午後3時15分まで 参加自由  
☆3月26日土曜日イオンモール岡崎で、子どもたちを違法薬物から守るためのキャンペーンを開催します☆



### 子供達が違法薬物の誘惑に No!と言えるようにするための10か条 (アメリカの例)

薬物乱用『ダメ。ゼッタイ。』ホームページより <http://www.dago.or.jp/data/other/index.htm>

1. 飲酒や薬物について子どもと話し合う。  
□話し合いによって、「誰でもやっている」という子どもの認識を変えます。
2. 子どもの話をよく聞く。  
□話を聞くこととしていることを、言葉や態度で子どもに示してあげます。
3. 子どもが気分よく話ができるようにする。  
□努力や成果をほめてあげる。子ども自身を攻撃せず、誤った行動・行為を正すようにします。
4. 子どもが強い道徳心をもつように助力する。  
□友達に引きずられることなく、強い道徳心で、No! という勇気をもつことができます。
5. あなた自身が模範となり、例となる。  
□親の癖、行動は、子どもの飲酒、喫煙、薬物乱用に対する態度に強い影響を及ぼします。
6. 子どもが仲間から圧力を受けても支えてあげる。  
□仲間からすすめられても、No! というほうが正しいのだという親の考え方を子どもに示しておきます。
7. 家庭内のルールを決める。  
□子どもの飲酒、喫煙、薬物乱用に対する家庭の中での特別ルールを作っておくことです。破った場合の罰則を、子どもに明確に示しておくことも効果的です。
8. 健康的で、創造的な活動を奨励する。  
□退屈しのぎの飲酒、喫煙、薬物乱用から子どもを遠ざけるため、趣味や学校のイベントなどに参加することをすすめます。
9. ほかの親たちと協力する。  
□家庭内の指導を補強する支援グループで、ほかの親たちと一緒に行動するといいでしよう。
10. 子どもに問題がある場合の対処法を知る。  
□飲酒、喫煙、薬物乱用についての知識をもつことです。

人生を台無しにする薬物乱用から自分を守り、周囲の誘惑にノーといえる強い意志をもった青少年を育成しよう!

主催 岡崎竜城ライオンズクラブ

〒444-0045 岡崎市康生東2-18 岡崎信用金庫中央支店内  
電話 0564-23-8538 FAX 0564-28-1777  
E-mail: info@lctatsuki.com URL: <http://www.lctatsuki.com>

後援 岡崎警察署 岡崎市教育委員会 岡崎市保健所 イオンモール岡崎

#### 目次:

予告 薬物乱用防止キャンペーン	1
中学生のためのクラシックコンサート	2
例会紹介	3



私たちは  
献血推進キャンペーンを  
応援しています。

#### 第2回献血キャンペーン開催

日時: 3月19日土曜日  
午前10時より午後3時まで  
場所: エルエルタウン駐車場



継続アクティビティ

2011年2月8日 岡崎市民会館大ホール



2011年(平成23年)2月9日

岡崎市教委と同崎竜城ライオンズクラブ主催の「中学生のためのクラシックコンサート」が8日、岡崎市民会館であった。午前、午後2公演で市内の中学生計2800人が一流の演奏を堪能した。

地元出身の指揮者村松貞治さん(31)が、活動拠点の愛州から一時帰国した。名古屋フィルハーモニー交響楽団のオーケストラを指揮。自らマイクを握り、各楽器の音色や楽曲を解説した。

村松さんは持ち前の情熱的な指揮で、モーツァルトの名作オペラ「フィガロの結婚」やビゼーの「カルメン」を披露。全員合唱「翼をください」では、観客席の生徒らに向かって指揮棒を振り、ホール全体を包む豊かなハーモニーを演出した。(中野祐紀)

**中学生への熱くクラシック曲**

岡崎 地元出身・村松さんがタクト

東海愛知新聞 2011年(平成23年)2月9日(水曜日)

**愛知小村松貞治さん 凱旋**

名フィルを指揮

岡崎竜城LC、市教委主催

中学生のためのクラシックコンサート

村松さん(31)が、活動拠点の愛州から一時帰国した。名古屋フィルハーモニー交響楽団のオーケストラを指揮。自らマイクを握り、各楽器の音色や楽曲を解説した。

村松さんは持ち前の情熱的な指揮で、モーツァルトの名作オペラ「フィガロの結婚」やビゼーの「カルメン」を披露。全員合唱「翼をください」では、観客席の生徒らに向かって指揮棒を振り、ホール全体を包む豊かなハーモニーを演出した。



クラシック音楽は、世界中で親しまれています。国も民族も、そして時代も超えて愛される音楽に親しむことは、とても意味のあることだと思います。

岡崎竜城ライオンズクラブは、青少年育成のみならず、市民チャリティーコンサートを通じて地域社会へ文化的貢献活動を行っております。

- 第1回 指揮 山本直純 名古屋フィルハーモニー交響楽団
- 第2回 指揮 金 洪才(キム・ホンジェ) 名古屋フィルハーモニー交響楽団
- 第3回 指揮 小泉和裕 ピアノ 荒 憲一 名古屋フィルハーモニー交響楽団
- 第4回 指揮 モーシェ・アツモン 名古屋フィルハーモニー交響楽団
- 第5回 指揮 現田茂夫 バイオリン 佐藤慶子 新星日本交響楽団
- 第6回 指揮 岡田 司 名古屋フィルハーモニー交響楽団
- 第7回 指揮 梅田俊明 名古屋フィルハーモニー交響楽団
- 第8回 指揮 竹本泰蔵 名古屋フィルハーモニー交響楽団
- 第9回 テノール 大野憲一 ソプラノ 山本みよ子 名古屋フィルハーモニー交響楽団
- 第10回 指揮 岩村 力 名古屋フィルハーモニー交響楽団
- 第11回 指揮 田代詞生 名古屋フィルハーモニー交響楽団
- 第12回 指揮 山上純詞 名古屋フィルハーモニー交響楽団
- 第13回 指揮 船曳圭一郎 バイオリン 安彦千恵 名古屋フィルハーモニー交響楽団
- 第14回 指揮 田久保裕一 中学生吹奏楽団と名古屋フィルハーモニー交響楽団との共演
- 第15回 指揮 田久保裕一 中学生合唱団と名古屋フィルハーモニー交響楽団との共演
- 第16回 指揮 吉住典洋 岡崎市選抜ジュニア合唱団とセントラル愛知交響楽団との共演
- 第17回 岡崎市選抜ジュニア合唱団
- 第18回 岡崎市選抜ジュニア合唱団
- 第19回 指揮 田久保裕一 岡崎市選抜ジュニア合唱団 名古屋フィルハーモニー交響楽団
- 第20回 指揮 田久保裕一 岡崎市選抜ジュニア合唱団 名古屋フィルハーモニー交響楽団
- 第21回 指揮 田久保裕一 岡崎市選抜ジュニア合唱団 名古屋フィルハーモニー交響楽団
- 第22回 指揮 田久保裕一 岡崎市選抜ジュニア合唱団 名古屋フィルハーモニー交響楽団
- 第23回 指揮 田久保裕一 名古屋フィルハーモニー交響楽団 2部制
- 第24回 指揮 田久保裕一 名古屋フィルハーモニー交響楽団 2部制
- 第25回 指揮 田久保裕一 名古屋フィルハーモニー交響楽団 2部制

## 第918回例会

2011年2月8日(火) 12時00分～ 岡崎市民会館集會室



中学生のためのクラシックコンサートの合間での例会となりました。

結婚祝い品の贈呈、誕生祝い品の贈呈が行われ、新会員L.伊藤の紹介もありました。



## 第919回岡崎竜城LC岡崎中央LC合同例会

2011年2月23日(水)18:00～岡崎ニューグランドホテル



岡崎竜城ライオンズクラブと岡崎中央ライオンズクラブは、ブラザークラブです。

一昨年前も合同例会を開催しました。今回は全て岡崎中央LCがご準備くださいました。

平松会長の挨拶は、わがクラブへの敬意を表すことに始まり、合同で事を進めるための配慮をされ、心地よい例会の始まりとなりました。

懇親会では、岡崎竜城LC岡崎中央LCそれぞれのチャーターメンバーが談笑する姿は積年の重みを感じました。

人が成長するためには、よい環境が必要だと思います。

ライオンズクラブに入会する若い世代が期待するのは、その良い環境だと思います。人間性を高めるためには、独りで居ては客観性を欠きますが、優れた人たちのなかで揉まれることで間違いを修正できます。奉仕をする人たちの集まりは良い環境のはずです。

相手を慮って場を整える、良い環境を提供して下さった岡崎中央ライオンズクラブのみなさんは正に実践されたと思いました。ありがとうございました。



### 編集後記

絵画は後世で作品に手を加えられないが、音楽は指揮者の作品に対する解釈があり、演奏者にも解釈が求められ表現に違いがでる。音楽は録音されたもの意外は、演奏会ごとに変わるものといってもよいと思う。クラシックとは古臭い音楽でなく、今も演奏会毎に変化していることに気付くと、その魅力の一端を知ることになる。演奏会では、演奏者は最高の演奏を目指し、聴衆は期待を持って待ち受ける。演奏会の前々の緊張感、そんな互いの思いのなかから生まれるのではないかと。

そして互いの思いが適ったとき、会場は一体となって歓喜の拍手につつまれる。「中学生のためのクラシックコンサート」は、そんな感動を伝えたくて26回続けてきたのではないだろうか。